

電 気 工 学 科			歴 史 と 文 化 A				
学 年	第 5 学 年	担 当 教 員 名	木村峰明				
単 位 数 ・ 期 間		1 単 位	前 期	週 当 り の 開 講 回 数	1 回	必 修 選 択	学 修 単 位 3
授 業 の 目 標 と 概 要		ドイツ語圏の歴史、文化について理解を深め、ヨーロッパ史と関連付けながら文化の多様性を考察し、比較文化に資する。					
		釧路高専目標	A:100%		JABEE目標	a	
履 修 上 の 注 意 (準備する用具・前提となる知識等)		テキストを講読する。					
到 達 目 標		ドイツ語圏およびヨーロッパの歴史、文化について関心を持ち、それらについてレポートすることができる。					
成 績 評 価 方 法		合否判定は、学期末のレポート評価60点以上を合格、かつこれを最終評価とする。不合格者は、再試またはレポートの評価60点以上をもって合格とする。					
テ キ ス ト ・ 参 考 書		テキスト： 三谷研爾編「ドイツ文化史への招待～芸術と社会のあいだ」 参考書：「角川世界史辞典」、坂井榮八郎「ヒストリカルガイド ドイツ・オーストリア」					
メ ッ セ ー ジ		ドイツとヨーロッパの歴史・文化に親しんでください。					
授 業 内 容							
授 業 項 目				授 業 項 目 ご と の 達 成 目 標			
1 表現のかたち(5回) 2 共生の夢～ユダヤとドイツ(2回)				以下について略述できる。1： 17世紀以降、画家メリアンからワグナーに至るまでの芸術活動の歴史について 2： ユダヤ教のあらましを知り、ユダヤ出身の作家と彼らを取り巻くドイツの社会環境について			
前 期 中 間 試 験				実 施 し な い			
2 共生の夢～ユダヤとドイツ (3回) 3 モダニズムのゆくえ(4回) まとめ(1回)				3： 19世紀末から20世紀にかけてのドイツの文化状況(モダニズム運動)とそれに連なる動きを点描し、登場する人物たちの現代へのメッセージを感じ取るような思考と読みの基礎力を養うことができる。 まとめ： 思考と読みの成果をレポートすることができる。			
前 期 期 末 試 験				実 施 し な い			
後 期 中 間 試 験							
後 期 期 末 試 験							